

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「信越自然郷・五高原ロングライド2015」
事業主体 (連絡先)	信越自然郷・五高原ロングライド実行委員会 代表林 靖夫 (事務局 0269-64-3316)
事業区分	(8) その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	4,516,499 円 (うち支援金 1,101,000 円)

事業内容

北陸新幹線飯山駅開業効果を利用し、9市町村観光エリア広域連携、「信越自然郷」を巡るサイクリングイベントを通じて観光資源を再開発し、楽しみの幅を広げる事業を地域住民を巻き込んで実施しました。



事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 本年参加者 320 名(昨年度 419 名)は減ってしまいましたが、割安の宿泊パックの設定で、パック申し込みが 92 名、指定宿以外にも宿泊者は増加傾向です。
- ② 参加者より、ロケーションの好評化と地元食材のよい評価が、ある手度確保でき PR につなげた。
- ③ 台湾からのエントリーを受付し、不慣れながら対応でき、ある程度の自信につながりました。
- ④ 13 名の輪行参加がありました。

【目標・ねらい】

- ① 参加者・宿泊者の増加
- ② 信越自然郷の PR
- ③ インバウンド対策
- ④ 新幹線飯山駅を活用した輪行の啓発

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

体験レポート、参加者アンケートを集計すると、信越自然郷のロケーション、食、人に満足をいただけた大会となりました。
この利点(資源)を更に広げて、地域の活性化につなげたい。

※自己評価【A】

【理由】

信越自然郷の資源の評価が高いのを改めて感じた。その資源を生かした大会を進めているので、方向性はあっている。
利用者満足度、スタッフの満足度から、今後につながる大会になった。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある